

【西南戦争を掘り・学ぶ事業学習指導案】

令和2年11月2日（月）2・3・4校時
 曾於市立大隅中学校1・2・3年生
 県立埋蔵文化財センター 大久保・湯場崎・上浦

1 5校時指導案

(1) 目標

発掘調査成果を中心に、遺跡や文化財、資料などを活用して、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

(2) 実際

過程	子どもたちの活動	時間	センター職員指導及び支援内容	準備・留意点
導入	1 埋蔵文化財センターの仕事を紹介する。 2 本時の目標をつかむ。 埋蔵文化財センターの役割や 大隅中学校周辺の史跡・遺跡を知ろう。	10	○ 埋蔵文化財センターの仕事内容を簡潔に説明する。 ○ 発掘調査の成果が世界遺産や国指定史跡に繋がっていることを説明する。	○ ヘルメット・ジョレン・移植ごて
展開	3 西南戦争についての理解を深める。 ・西南戦争の概略を説明する。 ①士族の不平・不満の増大 ②不平士族と維新政府との対立 ③西南戦争勃発 ④敗走する西郷軍 ※ 敗走するときに曾於市内でも戦闘が行われていることや、岩川官軍墓地に官軍の死者が埋葬されていることを知る。 ⑤城山で西郷自刃、西南戦争が終わる。 4 旧大隅町にある定塚遺跡を紹介する。	15	○ 西南戦争時の政府軍、西郷軍の進路を紹介する。 ○ 高熊山激戦地跡出土の銃弾を提示する。 ○ 現存する官軍墓地で比較的良好に残っており、地域の文化財として誇りを持つように心がける。 ○ 上野原遺跡に匹敵する遺跡が地元にあったことを知る。	○ 大まかな西郷軍・政府軍の進路と主な戦闘記載の地図 ○ 年表 ○ 縄文時代早期の土器を3点ほど用意する。
終末	6 本時のまとめをする。 自分たちの地域の歴史的な背景や先人達の暮らしについて考える。	5	○ 1万年以上前から、自分たちの地域には人々が暮らしていて、連綿と人々の生活が営まれてきたことを知る。 ○ 地域の歴史が教科書にある日本の歴史と密接に繋がっていることを説明する。	

(3) 評価

- ・ 地域にある文化財や資料から、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人の働きについて理解できたか。